

【07】リズム、ブレス、ララバイ(RBL)NICU 音楽療法～日本での実践と研究～

【講師】江口 理絵子

【要旨本文】

NICU（新生児集中治療室）音楽療法はさまざまな国で実施されている。研究では早産児のバイタル（心拍数、呼吸数、酸素飽和度）への好適な影響、吸啜活動の向上や哺乳量増加、状態移行、ストレスレベル軽減、入院期間の短縮、親の不安感軽減につながる有望な結果が報告されている（Standley, 2012; Bieleninik, et al., 2016）。現在、日本で新生児領域における音楽療法が提供されている病院はまだ少数である。

2018年、埼玉県立小児医療センター新生児科（NICU/GCU）で音楽療法プログラムが開始した。NICU音楽療法リズム、ブレス、ララバイ（RBL）モデル（Loewy, 2016）を活用し、児へ発達や成長の支援、親へ情動面や絆・愛着形成の支援、また、病棟内の音環境に対して環境音楽療法（Rossetti & Canga, 2013）を提供している。そして、緩和や終末期ケアで音楽療法が提供されることもある。

これまで、当院新生児科では音楽療法に関する看護研究、早産児に対する声を用いた音楽療法の事例研究が実施され、日本の新生児科における音楽療法実践に関連する展望や課題となり得る知見を得ることができた。今年、音楽療法を受ける児の脳反応を計測し評価を行う t-NISR（近赤外時間分解分光法）を用いた研究が開始された。NICU・GCUでは入院している児と親は医療状態や面会時間による制限など、さまざまな理由から親子分離を経験する。さらに、パンデミックでは感染対策のため面会制限など、より厳密な対策が必要とされた。これらの経験をもとに理学療法士、臨床心理士、音楽療法士、看護師、医師による多職種で家族の関わりを支援するプログラムが立ち上がり、実施されている。

当講習では、当院新生児科における音楽療法の実践、関連領域の研究、他職種による家族支援プログラムについてお話しさせていただき、そして6年間の経験を共有させていただきます。

Standley J.M. (2012). Music Therapy Research in the NICU: An updated meta-analysis, Neonatal Network, Vol.31 (5), 311-316.

Bieleninik, L., Ghetti, C. & Gold, C. (2016). Music therapy for preterm infants and their parents: A meta-analysis, Pediatrics, 138 (3), e 20160971

Loewy, V. J. (2016). First Sounds: Rhythm, Breath & Lullaby [RBL] Trainer Compendium. Satchnote Press, NY, USA.

Rossetti, A. & Canga, B. (2013). Environmental music therapy: Rationale for 'Multi-Individual' music psychotherapy in modulation of the pain experience. In J. F. Mondanaro & G. A. Sara (Eds.), Music and medicine: Integrative models in the treatment of pain. (1st Ed., pp. 275-294). Satchnote Press, NY, USA.

【講師プロフィール】

米国 NJ 州モントクレア州立大学音楽療法学科修士課程卒。米国認定音楽療法士。認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト。NICU 音楽療法 First Sounds: Rhythm, Breath & Lullaby (RBL)モデルのグランドペアレント。米国 NY 市マウント・サイナイ・ベス・イスラエル医療センター内ルイ・アームストロング音楽療法センターにて研修生を経て研究員として在籍し、NICU、小児、放射線治療外来、緩和ケア病棟等で医療現場における音楽心理療法の研鑽を積み、研究にも多数従事。